

キラリ! 地域おこし協力隊

遠野に移り住み活動する「地域おこし協力隊」の活動の様子や関連イベント情報などをお伝えします。



1_ 中尊寺にて郷土芸能見学。奥州市の行山流と都鳥鹿踊さんとツーショット 2_ 遠野テレビの取材を受け、とても緊張しました 3_ 八坂神社に長野獅子踊りを奉納

Q 活動内容を教えてください
着任して1年目は、宮守川上流生産組合で農産物の加工方法や田植えなどを実践的に勉強させていただきました。また、同組合のネットショップ「山あいの手しごと屋さん」の立ち上げメンバーとして、商品撮影や文章作成、全体的な作業まで関わらせていただきました。

2年目からは、組合の仕事のほかフィールドワークの案内人、SNS講座、講演など様々なことに挑戦させていただいています。
Q 活動の気付きを教えてください
改めて「遠野がいいな」と思うのは、皆さんの知識の多さや懐の深さ、郷土芸能や仕事に対する考え方など、尊敬する部分がたくさんあることです。同時に、観光で



遠野の魅力がうまく伝えられるようになりたい!

中澤 風由子 隊員 埼玉県さいたま市出身・26歳 (2020年10月着任)

移住し、挑戦中! 中澤さんのプロジェクト

「特産品魅力発信プロジェクト」

来た人たちに知られていないのもったいないとも感じていました。しかし昨年、事業者さんへのSNS講座を通して、SNSを開発していただき、楽しんで投稿している姿を見て、これからどんな横の繋がりがりやお客さまと繋がる機会が増えていくのではないかと感じていました。

Q 今後の目標を教えてください

任期はあと少しですが、今後も郷土芸能への参加など楽しみながら遠野に住みたいと思っています。また、今まで関わってきた人たちの仕事に加え、商品写真の撮影やチラシなどを自力で作るのが難しいと感じる人への作成支援、ガイド活動などを続けたいと思っています。

遠野の人たちのステキなアイテームを魅力的に見せるお手伝いと、観光客に遠野を好きになってもらえるようなアプローチをこれからもしていきたいです。

▶ 隊員と一緒に活動しよう イベント情報

info. 遠野の語り部になろう

date / 7月30日~来年2月4日までの土曜日と日曜日、13時~15時(都合の良い回に参加可能)

- ▶ 内容 昔話の語り部講座
- ▶ 会場 とおの物語の館
- ▶ 参加要件 15回以上の参加と来年2月に予定している発表会への参加
- ▶ 参加費 無料
- ▶ 予約 不要
- ▶ 申し込み・問い合わせ 電話(62-7887)または角田隊員にメール(kshizuka@tono-yamasatonet.com)

遠野の歴史文化を紹介 遠野史歴訪

本コーナーでは、あまり知られていない遠野の歴史文化をご案内。遠野遺産なども紹介します。



寺社が発行する厄除けの護符牛王宝印

市立博物館では、呪術やまじないをテーマとした特別展(会期7月21日~9月24日)を開催しています。「呪術」とは、神や精霊などの超自然的な力や神秘的な力に働きかけ、種々の願望をかなえようとする行為、およびそれに関連する信仰の体系のことを指す言葉で、「まじない」「魔術」なども呼ばれます。「遠野物語」にも山で行う魔除け、魔法・まじないをする老女雨乞い、オシラ遊ばせによる1年の吉凶占い、疱瘡送りなど、まじないに関する話が掲載されており、

遠野の民間信仰や年中行事などにもまじないの習俗を見ることができまます。呪術というと祈禱をしたり、呪文を唱えたりするという印象がありますが、年中行事や身近な習慣の中にも、元をたれば呪術であるというものが少なくありません。例えば冠婚葬祭の日取りを決める際に暦で吉凶を調べたりということとは現代でもよく行われています。また、各地の民俗行事に見られるしめ縄や、作り物を集落の境に設置する「道切り」などと呼ばれる行為も、外部からの災厄の侵入を防ぐための呪術的な祈願であり、絵馬などの奉納も様々な願掛けを行う呪術といえます。現在の暮らしにも古くからの呪術的な思考が入り込んでおり、それが日々の生活や文化を形づくっています。本展では遠野や岩手県内を中心に庶民の間で伝えられてきた様々なまじないについて、文献資料や民俗資料など175点を紹介します。

市立博物館夏季特別展 「遠野物語と呪術」見どころ紹介

第155回

遠野遺産

The Tono Heritage

遠野遺産認定第65号「有形文化遺産」(平成20年11月5日認定)

ダンノハナと佐々木喜善墓地

『遠野物語』第111・112話に紹介されているダンノハナ。山口集落をはさんでデンデラノと向かい合う丘にあり、「生の空間」の山口集落、「死の空間」のダンノハナ、その中間がデンデラノとして解釈されています。「段」になっている地形が地名の由来と伝わり、現在は集落の共同墓地となっています。中世には山口館があり、囚人の処刑場であったとも伝わっています。『遠野物語』の話者である佐々木喜善の墓地もここにあり、喜善が亡くなった9月には毎年多くの人がお参りしています。



MEMO
住 土淵町山口2地割
交 伝承園から車で10分
問 土淵地区センター (☎62-2837)